

## 災害発生時における協定の締結について

記者各位

川崎市(市長:阿部 孝夫)と新日本石油株式会社(社長:西尾 進路、以下新日石)は、本日、災害発生時における被災者支援のため、新日石が所有する「ENEOSとどろきグラウンド(所在地:川崎市中原区)」等の施設使用や、「緊急支援用大型テントバルーンシェルター」の使用に関する協定を締結することになりましたのでお知らせします。

首都直下地震などの災害が発生した場合には、住宅の倒壊などにより、多数の市民が避難生活を余儀なくされる可能性が高く、川崎市では、災害発生時の被災者支援のために、市立の小中学校や高等学校などを避難所と定め、「等々力緑地」「多摩川河川敷」等を広域避難場所に定めるなど、被災者支援策の強化を進めています。

また、国民生活や経済活動に不可欠な石油製品の供給責任を負託されている新日石では、被災者の救援や被災地域社会の早期復興に資することを目的に、昨年、事業継続計画を策定し、その一環として、震災による停電時にも給油が継続できるよう、非常用発電機などの緊急用設備を備えたサービスステーション網の構築を進めています。


本日締結する協定は、「新日石の所有するグラウンド等を災害時における一時避難場所等として使用することに関する協定書」「新日石が所有するバルーンシェルターを災害時等に使用することに関する協定書」の2件であり、自治体と民間企業が協働することにより、被災者に対し、迅速かつニーズに即応した支援の実施を目指すものであります。

以上

※ バルーンシェルター

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンが、海外における緊急人道支援の豊富な現場経験を活かして、大手繊維メーカーと共同開発した「緊急支援用大型テント」。

1m3程度に収納可能であるが、空気を送り込むことにより展張させると、100名程度の被災者を収容することが可能になる。

 『新日石の所有するグラウンド等を災害時における一時避難場所等として使用することに関する協定書』  
(PDF:99.9KB)

 『新日石の所有するバルーンシェルターを災害時等に使用することに関する協定書』(PDF:94.9KB)